

## 令和6年度 射水市協働のまちづくり推進会議 会議録

### 1 開催日時

令和7年1月24日（金）午前10時から午前11時30分まで

### 2 開催場所

射水市役所4階 401会議室

### 3 出席者

委員 奥 敬一会長、町野 美香副会長、神村 佑委員、源代 薫委員、  
宮田 雅人委員、山崎 京子委員  
(8名中、6名出席)

事務局 長谷川市民生活部長、菅原市民生活部次長、明野市民生活部次長、  
南市民活躍・文化課長、中島市民活躍推進係長、細谷主事、前田主事

### 4 欠席者 荒城 達也委員、米田 亮樹委員

### 5 議題及び会議結果

#### (1) 開会

長谷川市民生活部長挨拶

#### (2) 議題

##### ① 協働のまちづくり事業について

協働のまちづくり事業について、事務局から説明した。

##### ② 提案型市民協働事業について

ア 提案型市民協働事業の評価結果について（令和5年度）

提案型市民協働事業の評価結果について、事務局から説明した。

イ 公募提案型市民協働事業審査会の委員の選任について

公募提案型市民協働事業審査会の委員の選任について、事務局から説明した。

#### (3) 閉会

## 6 会議資料

- 資料1 協働のまちづくり事業について
- 資料2 令和5年度提案型市民協働事業評価結果
- 資料3 公募提案型市民協働事業審査会の委員の選任について
- 参考1 令和7年度射水市公募提案型市民協働事業応募の手引き
- 参考2 公募提案型・地域提案型市民協働事業採択一覧
- 参考3 射水市内NPO法人一覧
- 参考4 射水市協働のまちづくり推進会議設置要綱
- 参考5 射水市協働のまちづくり推進会議委員名簿

## 7 会議の経過（要点）

### (1) 協働のまちづくり事業について

#### 【委員】

まちづくり事業については、各種団体が取り組んでおりそれぞれ軌道に乗ってきているように感じている。事業については継続して実施することと、新たな創造や工夫をしていくことが大事だと思う。また、各種団体の相互連携により事業効果を高めていただきたい。

#### 【委員】

市が事業の企画運営を委託する各団体について、団体同士の繋がりがあまりないように感じる。事業委託を受けている団体同士が集まり、市とまちづくりについて話し合う場があってもよいと思う。

#### 【事務局】

承った意見については、今後の事業を検討する中で、参考にさせていただきたく思う。

また、今年度の委託事業ではそれぞれの団体から、イベントに参加されている方もおられ、体験したことを各々の活動に持ち帰っていただいたと考えている。引き続き、委託を受けている団体だけでなく、まちづくりに携わる団体が幅広く参加できるような企画を検討・実施していきたいと考える。

#### 【委員】

昨年、射水市観光協会では、富山情報ビジネス専門学校の留学生の方々を対象に、新湊エリアを中心に日帰りツアーを実施したところ好評を得たことから、市と協力して観光客・外国人を対象に、市内を回る日帰りツアーが実施出来れば良いと思う。

また、まちづくり事業については、市外の方を対象としているか。

#### 【事務局】

外国人の方との交流については、市民活躍・文化課が SPECIAL LINK PARKなどで、射水まちづくりネットワークや射水市民国際交流協会と連携してイベントを実施している。また、地域観光については観光まちづくり課が管轄となるの

で、各課連携しながら対応したいと思う。

イベントの対象者は射水市民を中心としているが、関係人口の広がりにつながるような取組としていきたいことから、市外の方にも参加していただきたく、公式LINEやホームページでの事業周知を実施している。今後は射水市観光協会をはじめとした各団体と連携して事業周知を実施していきたい。

**【委員】**

女性活躍推進学び塾・防災研修会など、まちづくり事業として幅広い分野の取組を実施しているが、市民活躍・文化課以外の担当課とはどの程度連携をとって実施しているのか伺いたい。

**【事務局】**

担当課とは協力体制をとって実施をしているが、協働という視点ではまだ足りていないように感じる。今後の事業展開では、担当課との連携にも注意をして実施したいと考える。

**【委員】**

地域提案型市民協働事業など市の事業周知が、市民に行き届いていないように感じる。地域振興会・役員だけでなく、地域の一般の方にも広く伝わる事業周知に取り組んでいただきたい。

**【委員】**

能登半島地震における結ネットの利用状況について、災害モードの安否確認を利用したのは2団体とのことだが、地域行事の中止案内等についてもそのとおりか。

**【事務局】**

災害モードの安否確認をした団体は2団体であり、イベント・避難の案内については、多くの団体で実施された。

**【委員】**

結ネットの利用は着実に広がっているようだが、導入費用や体験ワークショップについて今後の展望を伺いたい。

**【事務局】**

導入費用への支援については、初期費用と月額費用1年間分を補助しているところであり、新規導入する団体に対しては、引き続き支援していく。

また、体験ワークショップも継続して開催を予定しており、アプリの操作方法や、災害モードの説明について導入済みの団体だけでなく検討している団体も対象に実施していく。

**【委員】**

女性活躍推進セミナーの参加者について、市外からの参加者数について把握しているか。

**【事務局】**

第1回は参加者27名の内、市内からは11名、市外からは16名だった。

【委員】

魅力的な講師やイベントの場合、市外から多くの方が参加されることがあるので、参加者同士の交流や市内での事業展開を検討してもらえるような企画として、射水市の充実につながるものとしていただきたい。

【委員】

まちづくり団体活動展について、出展によりNPO団体等への問合せ数の増加など効果を把握されているか。

【委員】

まちづくり団体活動展後の活動団体へのフォロー調査は実施していない。今後の活動に取り入れていきたい。

どれだけの方が展示物をご覧になられたか詳細の数字は把握していないが、展示施設からは足を止めてご覧になられた等と伺っている。

【委員】

まちづくり談話室について、現在も熱量のある交流の場となっているようだが、コーディネーターの配置など何か工夫をしていることはあるか。

【委員】

コーディネーターの配置はしていない。射水まちづくりネットワークの運営メンバーが5名くらいは参加しているので、様子をみながら会話を回すなどしている。現状は参加者が自由に話をしている状態で、参加者にとって、サード・プレイスのようになってきていると感じる。

2年目以降については、テーブルごとにトークテーマを決めて実施するなど検討している。

(2) 提案型市民協働事業について

ア 提案型市民協働事業の評価結果について（令和5年度）

【委員】

評価結果について、提案団体に対して担当課からの評価は伝えているか。

【事務局】

評価シートによる通知は実施していないが、事業継続の際には、提案団体と担当課が協議をして、以降の事業に反映していると考えている。

【委員】

客観的評価の通知も含めて、提案団体とコミュニケーションをしっかりと取ることが大事だと思うので、市民活躍・文化課及び各担当課も徹底していただきたい。

【委員】

実施事業について、カテゴリーの分別や年間スケジュールを公表しているか。

【事務局】

採択結果や個別事業についてはホームページや広報紙で公表をしているが、カテゴリーや年間スケジュールの公開は実施していない。今後の事業周知の参考に

させていただきたい。

【委員】

提案団体及び担当課の評価シートについて、事務局で客観的評価をしているか。協働事業をより良いものにするためには、提案団体と担当課の自主的な努力に委ねるだけでなく、客観的評価を取り入れることを今後検討いただきたい。

【事務局】

評価シートは市民活躍・文化課で集計しており、制度として評価はしていないが、内容をチェックして担当課へのフィードバックをしている。客観的評価の公表については、令和6年度分から検討させていただく。

【委員】

事業の評価内容を公表することで、市民への提案型市民協働事業の制度の周知や提案団体のモチベーションにつながると思う。

【委員】

提案書類や評価制度が複雑であり、提案のハードルになっているように感じる。シンプルなものにできないか。

【委員】

提案書類の作成については、申請の前段階からアイデアや企画段階から市に相談ができ、ステップ的に申請できるような仕組みがあれば良いと思う。

【委員】

提案事業が終了したときに、事業がどのような効果をもたらしたかを公表できるようにすることが大事であり、その際に、第三者等が介入して客観的評価を実施して、市が行政サービスとして引き受けて実施する等、議論する場があれば良いと思う。

イ 公募提案型市民協働事業審査会の委員の選任について

奥会長、荒城委員、源代委員、山崎委員の4名が選任された。

午前11時30分閉会